

みなさんの声に

学校等公共施設の焼却炉は、本年度から使用を停止しました。家庭用の焼却炉は、法律や県の要綱の規制対象外ですが、ダイオキシンの発生は否定できません



答弁する鈴木健民課長

ゴミの減量化は重点課題

水路の改修については、地元土地改良区等と十分協議をいただき、事業実施が

排水路整備



排水路の整備は、資材交付または請負工事の方法で対応していきます。

決定したときには、町も予算の範囲内で協力します。

ので、なるべく家庭内の焼却処理量を減らし、資源ゴミの分別や燃えるごみとして環境衛生組合へ出すよう協力ください。
昨今の環境意識・リサイクル意識の高まりとともに、埋立て最終処分されるゴミが減量化したため、埋立て最終処分場は当分飽和状態になることはありませんが、引き続きゴミの再資源化には力を入れていきます。

農道整備

現在進捗中の農免道路「宮川地区」の早期完成に努め、新たな事業として県の助成を受け南北縦貫道路としての延伸が図られるよう努めます。

安心な水道水の利用を

町では、5年に一度、定期的に集会施設の地下水水质検査を実施しています。調査結果は、広報を通じてお知らせします。

水は、生活するうえで最も必要なものです。安心できる水道水を利用ください。



要望事項を述べる佐竹行政委員（宮内）

人・物の流れをつくる道路整備



集落内未舗装道路は直営舗装で実施します。

集落内の未舗装道路は集落内で検討を願い、申請いただければ直営舗装で実施します。

ので、設置については地域のみなさんの協力をお願いします。

道路側溝が無い箇所は流末排水の状況を確認し、排水同意が得られれば道路改良事業等と合わせて実施します。

町道の側溝のふたが必要な箇所は資材を支給します。

県で管理する道路の事業希望については町から関係機関へ要望をお伝えします。銚子連絡道は、測量事業や地権者説明が進められています。完成までは、概ね10年程度かかると思われます。

海老川沼周辺開発構想

雇用の確保を目的に、海老川沼周辺を製造業や物流拠点の工業団地として、県へ事業を実施していただけるようにお願いしています。県では、現在の社会経済

情勢に照らし、慎重に検討が進められています。

町でも、県との調整をはかりながら、都市マスタープラン策定作業の中で効果的な土地利用を検討していきます。